

福岡県

シニア災害ボランティア  
シンポジウム開催報告



平成28年11月9日（水）、九州ビル大ホールにて福岡県と当協会主催による「災害ボランティアシンポジウム」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して福岡県消防防災指導課の鳥枝浩彰課長と当協会の吉田理事長が挨拶し、続いて兵庫県立大学防災教育研究センターの室崎益輝先生による講演と特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワークの明城徹也事務局長の講演が行われました。



室崎 益輝 氏

神戸大学名誉教授・兵庫県立大学防災教育研究センター長  
兵庫県尼崎市出身。京都大学工学部卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長、関西学院大学災害復興制度研究所長を経て、2013年より現職。防災功労者内閣総理大臣表彰、日本火災学会賞などを受賞。

講演 1

13:40～14:40

巨大災害に備えるシニア社会

神戸大学名誉教授・

兵庫県立大学防災教育研究センター長

室崎 益輝 氏

講演1では、高齢化社会等現在日本が抱える課題を背景に防災やボランティアにおけるシニア層の役割と活用について講演いただきました。

講演 2

14:50～15:50

災害とボランティア  
〜熊本地震を踏まえて〜

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク事務局長

明城 徹也 氏

講演2では、今年4月に発生した熊本地震において、現地でのボランティア活動の内容や今までのボランティアとは異なる新たな課題等について講演いただきました。



明城 徹也 氏

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク事務局長  
建設会社に勤務後、NGO業界に転職。コンゴ難民支援事業、パキスタン地震被災者支援事業、南部スーダン帰還民支援事業、東日本大震災被災者支援プログラム等の国際的支援事業に携わり、2015年4月から全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）事務局長として、支援調整の仕組みづくりに取り組む。

今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となる講演となりました。